opusdei.org

## ドラ・デル・オヨ生 誕は百周年

1月11日は、オプス・デイの最初のアシスタント・ヌメラリー、ドラ・デル・オヨの生誕百周年でした。

## 2014/01/18

ドラ・デル・オヨ・アロンソは、 1914年1月11日、ボカ・デ・ウエル ガノ(スペイン、レオン県)に生ま れる。模範的なキリスト者であった 両親は、幼少時から彼女が神のよい 娘になるように育てた。 1946年3月14日、ビルバオでオプス・デイに所属することを願い出しい。特にごとを願いいいですの時間から神の召した。特にごとなった。特にごとなった。なりないであった。とっていいでありがである。というではないでありがでありがである。というではないでありがでありがである。は、というではないでありができませる。は、というでは、これができないが、は、というでは、これができないが、は、というでは、これができないが、というでは、これができないが、というでは、これがでいる。

仕える精神と職業面の高い能力を備え、一つひとつの平凡な行いに隠された聖化と使徒職に関する意味を見つけることのできる女性であっるとのできる女性であるといて、そこに集まった世界中の女性たちの形成に協力し、出来の女性たちので推進されている。 2004年1月10日帰天。ドラの遺体は、平和の聖マリア属人区長教会地下墓所に安置されている。 2012年6月18日、オプス・デイ属人区長は、ローマにおけるドラ・デル・オヨの列聖審理を開始した。属

人区長は次のように述べている。 「彼女が教会と社会全体に対して果 たした、そしてこれからも果たす役 割に関して、私は確信を深めていま す。主は、ドラ・デル・オヨを、ナ ザレの家庭で聖母マリアがされてい たのと同じ仕事に従事するように呼 ばれました。キリスト者としての生 き方への忠実さによって表された彼 女のキリスト者としての模範は、奉 仕の精神の理想を生き生きと保たせ ることに貢献し、家庭教会としての 家庭が持つ重要性を我々の社会に知 らしめることになるでしょう。彼女 はそのことを、毎日の仕事を寛大に 喜んで果たすことで実践してきたの です。列聖されるということの第一 の意義は、人々に役立つことであ り、それゆえに教会を豊かにすると いうことです。彼女のケースは、家 事を通して喜んで奉仕することに

よって毎日の生活を絶え間ない神への捧げものにできることを理解する ために、役立つものとなることで しょう」

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/doraderuoyosheng-dan-habai-zhou-nian/(2025/11/20)